

本件に関する Q&A

1. 子どもに幼稚園から話してもらえるのか？子どもへは慎重に伝えてほしい。

子どもたちへの伝え方については、保護者の皆様から「子どもへは慎重に伝えてほしい」というお声をいただいています。

年長クラスでは、7月3日に子どもたちから園のことについての話題が出たため、担任が「園はすぐにはなくなること」「小学校に行っても幼稚園に遊びに来られること」を中心に、安心につながる内容を伝えました。

他学年については、各学年の発達段階に応じた言葉選びが必要と考え、担任間で相談し、7月6日(月)に各クラスで、子どもが過度な不安を抱かないよう配慮しながらお話をしました。その際の子どもたちの様子や、実際にどのような表現で伝えたかについては、7月6日の「園からのお知らせ」を通してお知らせしております。

2. 園の記録等はどのように残されるのですか？

園児台帳などの必要な書類は、学園の規程に基づき本部で責任をもって保管いたします。

3. イベントやカリキュラムは子どもの発達に対して適切におこなっていただけるのですか？

本園では、これまでと同様に幼稚園教育要領に則ったカリキュラムに基づき、子どもの発達を踏まえた教育活動を行っていきます。行事については、これまでと同じ形での実施が難しい場合もありますが、その時々状況に応じて方法を工夫し、ねらいが達成できるよう内容を組み立てていきます。

子どもたちが「やってよかった」「楽しかった」と感じられる経験となるよう、一人ひとりの育ちを大切にしながら取り組んでまいります。

4. 園バスや預かり保育、給食等はどうなっていくのですか？

園バス、預かり保育、給食など、現在行っているサービスにつきましては、園児数にかかわらず、今後もこれまでどおり継続して実施してまいります。

5. 園児数減少により予算が減ることで保護者負担は増えないのか？

園児数の減少に伴い、園に入る予算も減少する見込みですが、そのことによって保護者の皆さまのご負担が大きく増えることはない予定です。

園費やバス代など、個々の金額については現在調整中のため未定ですが、保護者負担が急に大きくならないよう慎重に検討してまいります。

6. 最終学年が1クラスとなった場合、異年齢教育はどうなるのか？

最終学年が1クラスとなった後も、異年齢の関わりを大切にしていきます。2歳児親子ク

ラスや子育て支援事業は最終年度まで継続するため、その参加親子との交流の機会を設けます。また、附属すみれ保育園や高校生との交流も続けることで、これまで培ってきた異年齢交流の良さを、形を変えながら継承していきたいと考えています。

7. 先生の人数も減るのですか？

クラス数や園児数の変化に応じて、適切な教員配置を行ってまいります。在園のお子さまの教育・保育の質が損なわれないよう、人員体制を整えながら進めてまいりますので、ご理解いただけますと幸いです。

8. 園の施設設備はどうなっていくのですか？

園舎や園庭などの施設・設備の今後の活用につきましては、現時点では具体的な内容は未定です。

9. 園の存続をほかの方法で考えてこなかったのか？

過去には、認定こども園への移行も検討いたしました。しかし、施設・設備の大規模な改修が必要となることなど、多くの課題を解決することができず、認定こども園への移行は断念せざるを得ませんでした。

10. 親子クラスや子育て支援事業は継続するのか？

親子クラスや子育て支援事業は、今後も継続いたします。就園の有無にかかわらず、本園を保護者の皆様の交流の場としてご活用いただきたいと考えております。引き続き、自然豊かな園庭を活かし、家庭では経験しにくい遊びや活動を提供してまいります。

11. 次年度、年少クラスに進級する人数が知りたいのでアンケートを取ってほしい。

次年度の年少クラスの数についてご心配をお持ちであること、よく理解しております。本園では、今後も新たに入園されるお子さまがおられることから、現時点で確定した人数をお示しすることが難しい状況です。

つきましては、今後の面談等を通して、担任やかかわりのある教員がお子さまのご様子や保護者の皆さまのご意向を丁寧に向いながら、クラス人数の把握に努めてまいります。

令和8年7月10日